

**第2回 ロクハ公園プール検討委員会
議事要旨**

1. 日時

令和5年9月7日（木）14:00～16:00

2. 場所

草津市役所 4階 行政委員会室

3. 委員

下表のとおり

※五十音順（敬称略）

氏名	所属名等
いちい よしふさ 市井 吉興	立命館大学 産業社会学部 教授
くちの たかし 口野 隆史	京都橘大学 元発達教育学部 教授
くぼた あきひろ 窪田 明裕	草津・栗東地区労働者福祉協議会 事務局長
くまがい いちえ 熊谷 一恵	志津小学校 PTA 会長
こばやし のぞみ 小林 望	草津市公立保育所・公立認定こども園保護者と先生の会連絡協議会 会長
さとう みか 佐藤 三佳	公募
すずき のぼる 鈴木 登	草津市まちづくり協議会連合会
ふだもと いずみ 札本 泉	公募

4. 欠席委員

1名（熊谷委員）

5. 事務局

草津市 建設部：松尾部長、島田副部長

草津市 建設部 公園緑地課：森課長、梅原課長補佐、児島主査、前田主任

6. 傍聴者

1名

7. 委託事業者

八千代エンジニアリング株式会社

8. 委員会資料

資料1：第1回検討委員会での主な協議事項

資料2：市民アンケート・利用者アンケート調査結果の概要

資料3：ロクハ公園プール再整備方針（素案）

資料4：ロクハ公園プール再整備方針（素案）ゾーニングイメージ

参考資料1：ロクハ公園プールのリニューアルにかかる市民アンケート調査

参考資料2：ロクハ公園プールのリニューアルにかかる利用者アンケート調査

参考資料3：他都市レジャープールの事例

座席表

9. 議事の概要

1 開会

草津市建設部長より開会の挨拶を行った。

2 議事

(1) 市民アンケート・利用者アンケート結果の報告

事務局より、以下の資料について説明を行った。

- ・ 資料1：第1回検討委員会での主な協議事項
- ・ 資料2：市民アンケート・利用者アンケート調査結果の概要

委員 利用者アンケートの回答から市外在住の回答者が多いことがわかる。具体的にどの地域からの来園者かわかるようなデータはあるか。

事務局 市外在住の方の具体的な居住地は聞いていない。昨年度の利用者アンケートも同様に市外利用者が多かった。近隣の市町村を中心に、栗東市・守山市・野洲市等からの利用が多いのではないかと考えられる。

委員 市外から来園する方は、どのように情報を得ているのか。

事務局 主に施設のホームページ等が考えられる。

委員長 プールの利用者が SNS 等を活用して情報発信することは多いか。

事務局 SNS で情報発信している方も多いと思われる。影響力の大きい方が発信することで来場者数の増加が見込まれる可能性もあると考えられる。

委員 市外の来園者や自家用車での来園者が多いことを踏まえると、駐車場の確保が課題であるとする。実際に現在のロクハ公園プールを見ても、駐車場が不足している印象がある。草津市立高穂中学校とロクハ公園駐車場の間のスペースを利用して駐車場を確保することも考えられる。

現在のロクハ公園プールでは、スライダーの身長制限が120cm以上であり、120cm未満の子が遊べるような遊具が少ない。新しいロクハ公園プールには、小さな子どもでも楽しめるような遊具が必要であるとする。

委員長 プールの再整備により来園者が増えると、駐車場不足による交通渋滞等により地元迷惑がかかる可能性があるため、対策が必要とする。

市民利用者を増やすためには、市民への優遇措置（割引券等）も考えられる。

- 委員長 現時点で公共交通での来園手段はあるか。
- 事務局 JR草津駅からバスが運行しているものの、運行本数はあまり多くない。
- 委員長 自家用車に代わる手段として期間限定のシャトルバス等の運行も考えられる。リニューアルオープンまでの間に段階的に試験導入する方法が有効である。
- 委員 アンケート調査の設問に「屋内25mプールをレジャー色の強いプールとして改修」とあるが、どのような改修内容を考えているか。
- 事務局 現段階で具体的な機能は示していないが、(仮称)草津市立プールとの棲み分けとして、レジャー色が強い機能の導入を検討している。市民アンケート調査、利用者アンケート調査ともに7割以上が賛成と回答している。
- 委員 本年度は屋内25mプールが使用中止となっており、利用者の中には不満に感じた方もいたと考えられる。アンケート調査において「プールの種類に魅力がない」との意見もあったが、再整備に当たり、現在の機能の他に追加予定の機能はあるか。
- 事務局 プールの再整備に当たり、レジャー機能等の拡充も検討しているため、現在よりも遊べる施設は増えるのではないかと考えられる。
- 委員長 各委員からの意見を踏まえ、事務局として補足したい点はあるか。
- 事務局 自由意見でも市民がお得に利用できるような料金設定を求める声が多かったように感じる。料金設定については、今後、検討していく必要があると考えている。
- 委員 プールを運営していくためには、収益を上げなければならないため、市内利用者の料金は変えずに市外利用者の料金を引き上げる方法が良いと考える。良い施設を整備するためには、利用料金を上げることも必要であると考えている。

(2) ロクハ公園プール再整備方針(素案)に関する意見交換について

事務局より、以下の資料について説明を行った。

- ・ 資料3：ロクハ公園プール再整備方針(素案)
- ・ 資料4：ロクハ公園プール再整備方針(素案)ゾーニングイメージ

また、事務局より、上記の資料はあくまでも現時点でのたたき台であり、検討委員会での意見を踏まえて今後検討を進めていく予定であることを説明した。

- 委員 流水プールについて、現在の規模や配置では中の島の活用が難しいように感じる。流水プールの幅を広げることも考えられる。
- 委員長 現在の流水プールについて、中の島はどのように活用しているか。
- 事務局 現在の流水プールでは、中の島のスペースが狭いため、特に活用できていない。
- 委員 芝生広場にテント持ち込む利用者が多いため、屋根を設置しておくことで便利に利用できると考える。
- 屋内25mプールについては、レジャープール等、子どもが遊べる施設にした方が良いと考える。
- 再整備により利用が増える場合には、監視・案内スタッフを増員する等、安全・安心に利用できるような工夫が必要と考える。

- 委員 再整備方針の案-1については、屋根を完全に撤去し、屋外プールとして利用するイメージで間違いないか。
- 事務局 現時点の想定では、可動屋根を撤去し、現在の屋外プール部分と一体的に利用できるようにする想定である。
- 委員 遊水ゾーンについて、これまで小さな子どもでも遊べる施設が少なかったため良いアイデアだと思うが、もう少し大きくスペースをとっても良いと考える。
屋内プールの廃止に当たり、雷雨の際に避難できるスペースを考慮した方が良いと考える。
- 委員 敷地の拡大については想定していないか。25m プールを現在のプールエリア外に整備することも考えられる。
- 事務局 現時点では想定していない。
- 委員 現在の更衣室は狭いため、更衣室の高質化と合わせて十分なスペースの確保を検討していただきたい。
- 委員 現在の管理棟は駐車場から遠いため、配置を見直すことも考えられる。
熱中症対策として、手ぶらで来園しても日陰でゆっくりできるような屋根付きの休憩スペースは必要と考える。
有事の際に使えるような非常口を確保した方が良いと考える。
- 事務局 通常、利用している出入り口は1つのみであるが、緊急時には芝生広場側の出入り口も使えるようにしている。
屋根付き休憩スペースについては、アンケート調査においても設置を求める声が多かったため、流水プール付近に屋根付きの休憩スペースを設置予定である。
その他にも休憩施設は多めに設置した方が良いと考えている。
- 委員長 現在の屋内 25m プールは長方形の形状であるが、レジャー色の強いプールへの改修に当たり、形状を変更することは可能か。
- 事務局 他のプール施設を含めて形状の変更等は可能である。予算上の都合等もあるため、今後、検討の必要がある。
- 委員 子ども向けやファミリー向けの機能が多い印象であるが、高齢者でも利用できるような施設があると良いと考える。孫と一緒に遊ぶ、健康増進のための運動など、一定の需要はあると考えられる。
- 委員 流水プールの中の島について、事例写真のような活用方法を考えているか。
- 事務局 現在の形状にとらわれず、自由な意見をいただくための参考として掲載している。
- 委員 予算上の制約もあると思うが、現在の敷地の外までプールを拡大することにより、幅広い世代が利用できるような施設を整備することができると考える。
- 委員 現在の施設は段差が多いため、フラットにした方が良いと考える。
熱中症対策として、ロッカールームにエアコンを設置することも考えられる。
キッチンカーについては、固定の施設を常設する必要がないため、良いアイデアであると考ええる。
- 委員長 キッチンカーは、芝生広場付近に配置することも良いと考えられる。

- 委員 現在の利用料金を改定する予定はあるか。付き添いや見学する方向けの料金を別途設定することも考える
- 事務局 利用料金については、リニューアル時に見直す想定である。
- 委員 駐車場の利用料金はどのような設定になっているか。
- 事務局 プールの営業期間に限り、普通自動車 1 台当たり 300 円を徴収している。臨時駐車場など距離が離れた駐車場では、料金を徴収していない。
- 委員 駐車場は舗装した方が使いやすいと考える。
- 委員 ロクハ公園内のジャブジャブ小川等と連携できれば、プールのスペースを有効活用できると考える。
- 委員長 再整備方針の案-2 について、飲食施設として調理スペースを大きく確保するよりも、キッチンカーで食べ物を購入し、休憩スペース内で食事ができるような運用とした方が良いと考える。
- 委員 志津学区ではロクハ公園を利用して「志津ふれあい広場」というイベントを実施している。その際に複数のキッチンカーが出店しているが、利用者からの人気は高い印象である。ロクハ公園プールに導入することで賑わいが生まれると考える。
- 委員長 再整備方針の案-1 では、レジャー機能として小さな子どもでも遊べるような施設を導入する方針としているが、具体的にどのような施設があれば良いか等、各委員からの意見があれば伺いたい。
- 委員 身長が 120cm 未満の子どもでも遊べるようなスライダーがあれば良いと考える。
- 委員 着水プールがあると小さな子どもは溺れるリスクがあるため、着水しないようなすべり台があれば良いと考える。
- 委員 高齢者の利用も考慮すると、小さくても 25m プールは残した方が良いと考える。
- 委員長 25m プールに限らず、レジャープールでも高齢者と子どもと一緒に遊べるようなコンテンツを用意することができればよいと考える。
- 委員 イベントやゲームを含め、高齢者と子どもと一緒に遊べる仕組みがあると良い。過去にロクハ公園プールで利用者による事故の事例はあるか。
- 事務局 利用者による事故はないが、過去に可動屋根上で作業員が事故に遭ったケースはある。
- 委員 プールの南側のエリアと連携し、緑道を散歩できるような運用ができれば良いと考える。
- 委員 遊水ゾーンは広い方が良くと思う。芝生広場ゾーン、遊水ゾーン、ウォーターパークゾーンが連続するような配置とすることで、保護者にとって子どもに目が届きやすくなると考えられる。
- 委員長 現在売店が立地する辺りまで遊水ゾーンを拡大し、ウォーターパークゾーンと連続性を持たせることも考えられる。
- 事務局 本日挙げていただいた意見を踏まえながら再整備方針（素案）を再整理したい。
- 委員長 本日の議論を踏まえ、再整備方針（素案）の整理は、事務局に一任する形で良いか。
- 一同 異議なし。

3 閉会

草津市建設部 副部長より閉会の挨拶を行った。